

クレジット:

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2016 白波瀬佐和子

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。



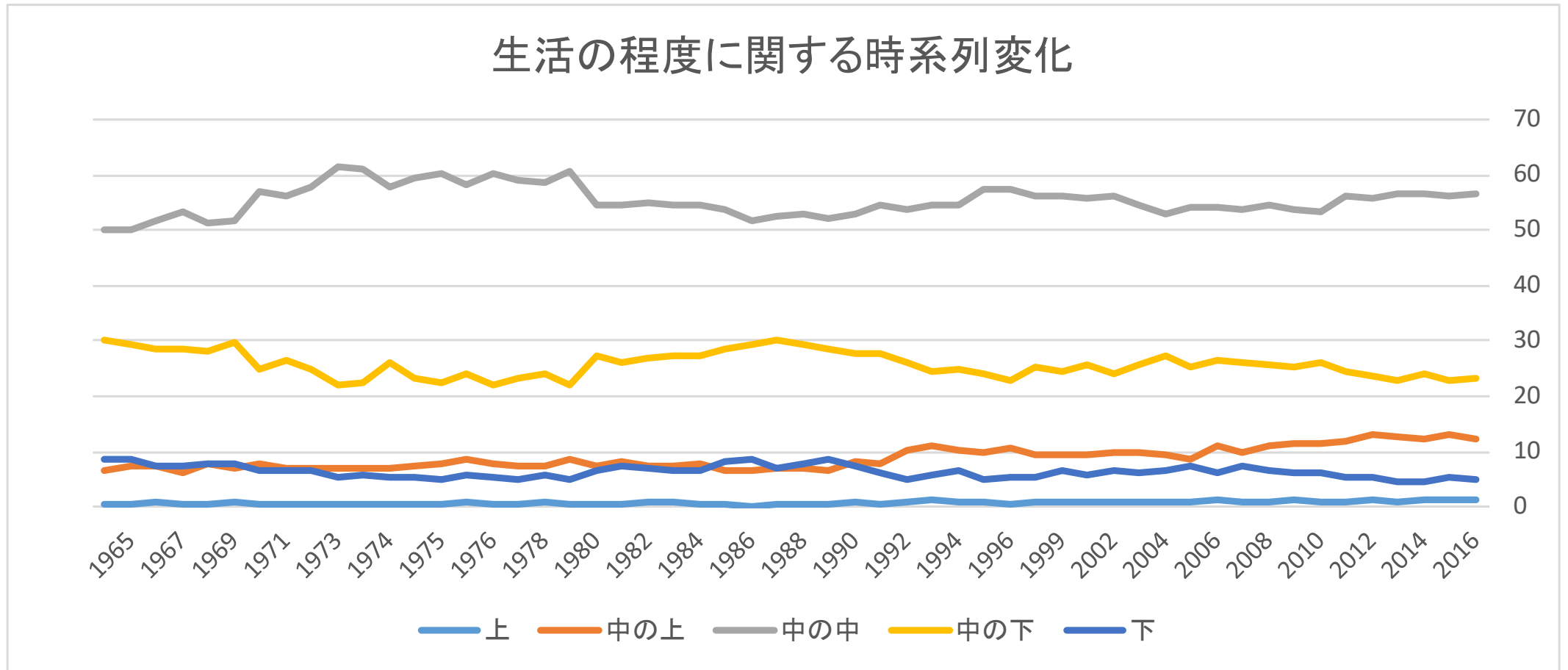
# 富める者と貧しき者： 機会と結果の不平等

学術俯瞰講義：現代日本を考える

2016年12月12日（月）

白波瀬佐和子（人文社会系研究科）

# 一億総中流社会から格差社会への言説神話



出典)「平成28年度 国民生活に関する世論調査」表2参考1 (<http://survey.gov-online.go.jp/h28/h28-life/2-1.html>)より作成

# 格差の是非、不平等の是非

- 格差は悪なのか
- 不平等は悪いのか
- 格差と不平等の違い

# だれが富むのか、だれが貧しいのか？

- どうして豊かな者と貧しい者がいるのか？
- 両者の違いはどうして生まれるのか？
- 豊かな者が貧しくなるチャンスと貧しい者が豊かになるチャンスはどの程度なのか？

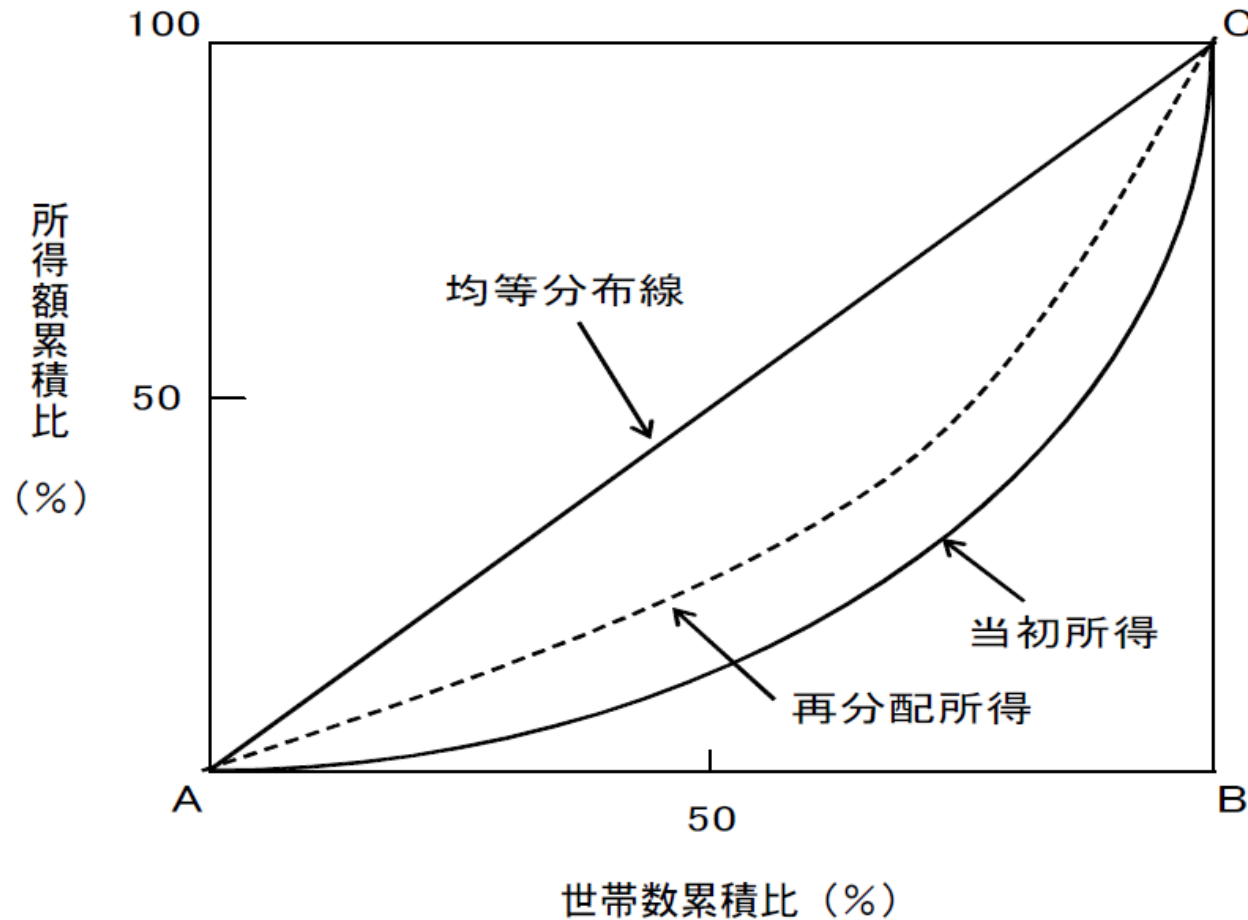
# 不平等の程度を測る視点

- 経済学的視点：分布に着目  
結果の不平等に着目
- 社会学的視点：移動のしやすさに着目  
機会の不平等を考慮した不平等生成  
のメカニズムに着目

# 所得分布の不平等度を測る指標：ジニ係数

出典)「平成26年所得再分配調査報告書」(厚生労働省) (<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-12605000-Seisakutoukatsukan-Seisakuhyoukakanshitsu/h26hou.pdf>) 2016年10月10日アクセス

図2 ローレンツ曲線



# 日本はどれくらい平等か？

出典)「平成26年所得再分配調査報告書」(厚生労働省) (<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-12605000-Seisakutoukatsukan-Seisakuhyoukakanshitsu/h26hou.pdf>) 2016年10月10日アクセス

表9 所得再分配による所得格差是正効果 (ジニ係数、等価所得)

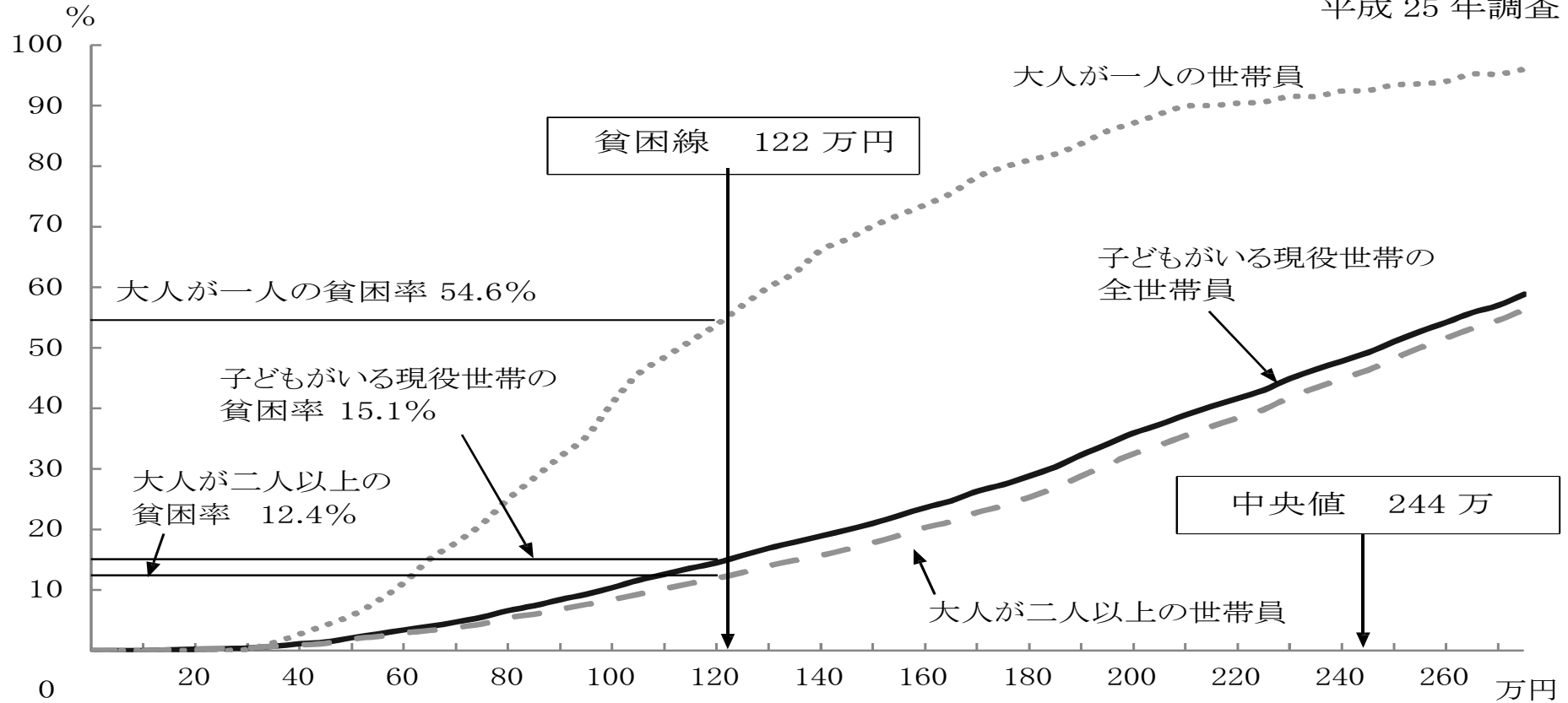
調査年	ジニ係数				ジニ係数の改善度		
	等価当初所得 ①	①+ 社会保障 給付金 - 社会保険料 ②	等価可処分所得 (②-税金) ③	等価再分配所得 (③+現物給付) ④	再分配による 改善度 ※1	社会保障による 改善度 ※2	税による 改善度 ※3
平成14年	0.4194	0.3371	0.3227	0.3217	23.3%	19.9%	4.3%
平成17年	0.4354	0.3355	0.3218	0.3225	25.9%	22.8%	4.1%
平成20年	0.4539	0.3429	0.3268	0.3192	29.7%	26.2%	4.7%
平成23年	0.4703	0.3418	0.3219	0.3162	32.8%	28.6%	5.8%
平成26年	0.4822	0.3354	0.3159	0.3083	36.1%	32.1%	5.8%

- ※1 再分配による改善度 =  $1 - ④ / ①$
- ※2 社会保障による改善度 =  $1 - ② / ① \times ④ / ③$
- ※3 税による改善度 =  $1 - ③ / ②$



図21 子どもがいる現役世帯の  
等価可処分所得金額別にみた世帯員数の累積度数分布

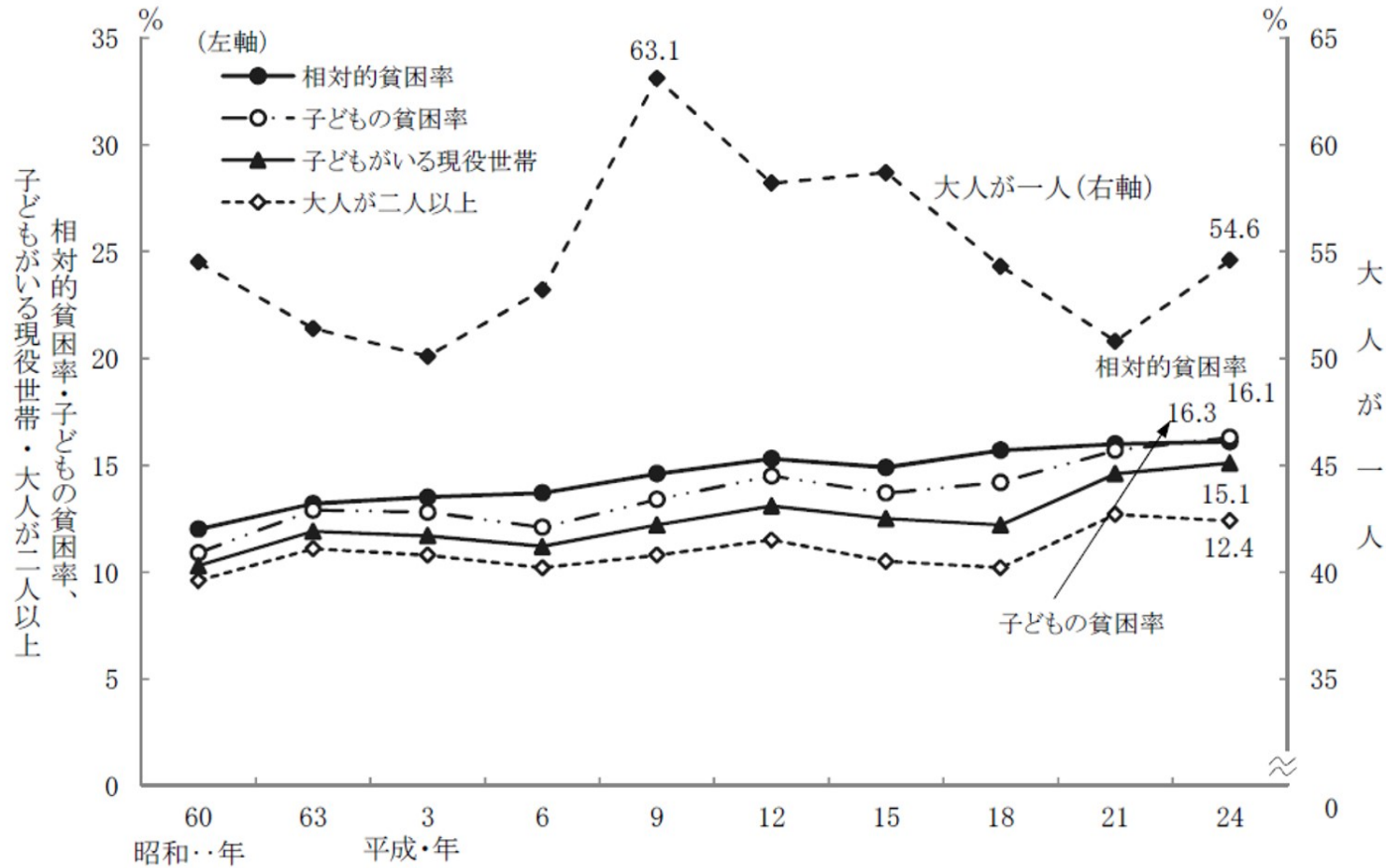
平成25年調査



注： 等価可処分所得は、名目値である。

出典)「平成25年 国民生活基礎調査の概況」(厚生労働省)図21 (<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa13/index.html>)  
2016年12月10日アクセス

図 19 貧困率の年次推移

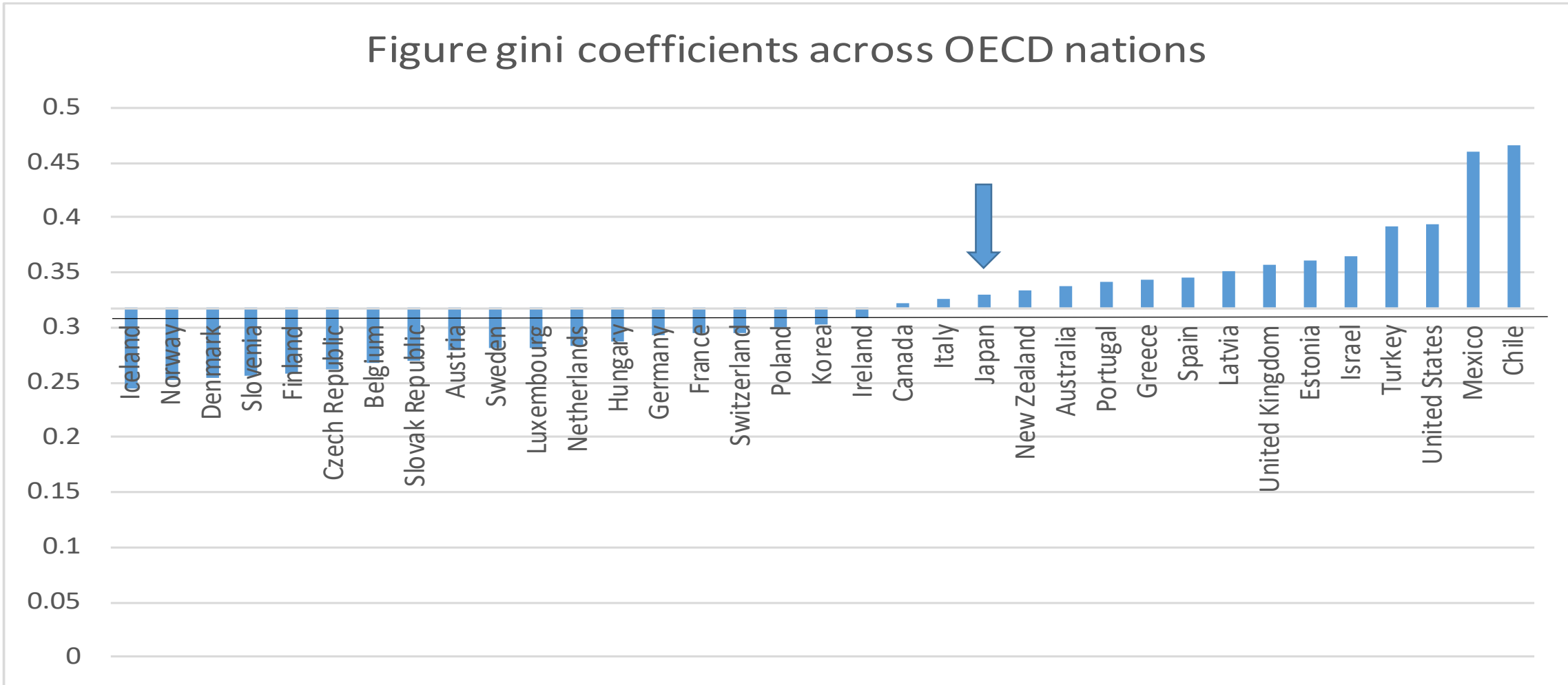


- 注：1) 平成6年の数値は、兵庫県を除いたものである。  
 2) 貧困率は、OECDの作成基準に基づいて算出している。  
 3) 大人とは18歳以上の者、子どもとは17歳以下の者をいい、現役世帯とは世帯主が18歳以上65歳未満の世帯をいう。  
 4) 等価可処分所得金額不詳の世帯員は除く。

出典)「平成25年 国民生活基礎調査の概況」(厚生労働省)図19 (<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa13/index.html>)  
 2016年12月10日アクセス

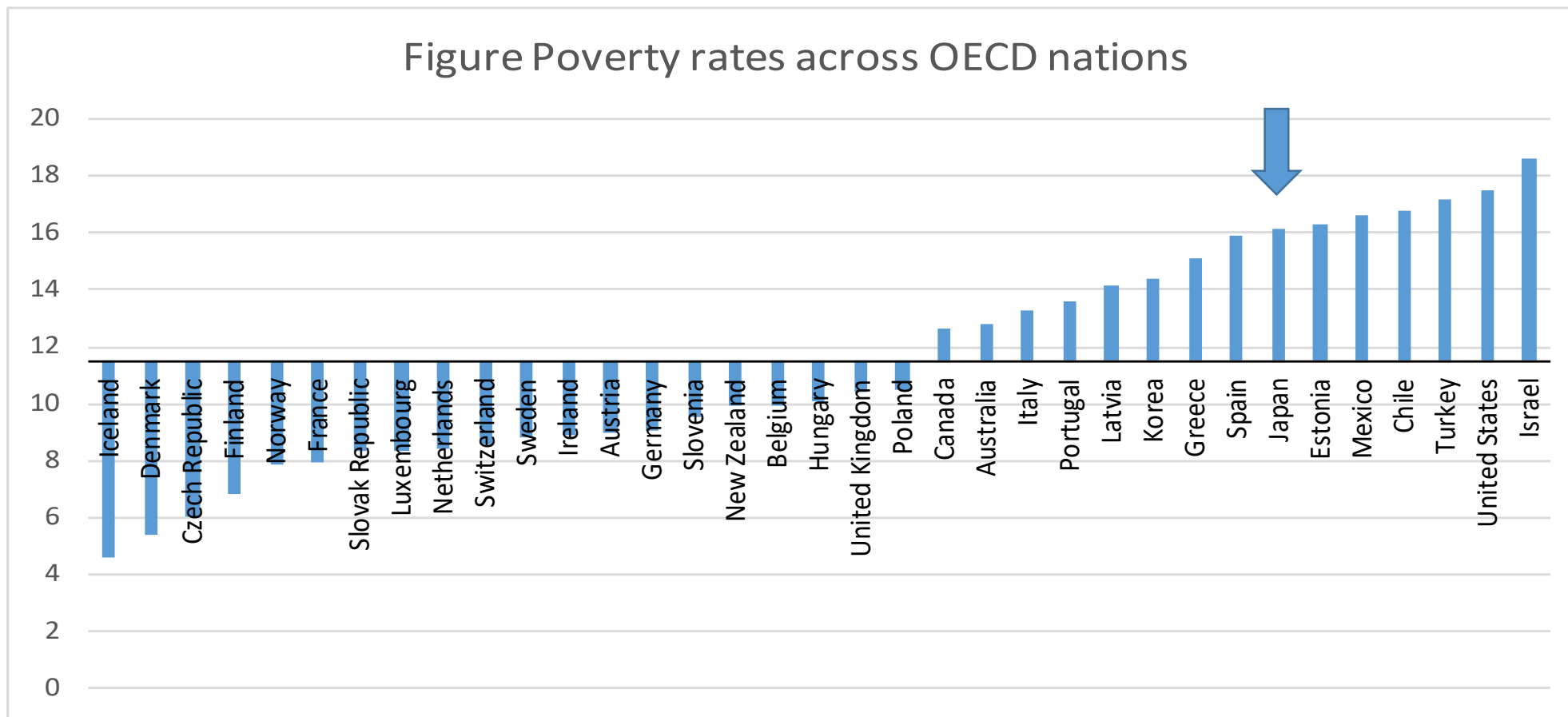
# 日本はどの程度不平等か？ OECD平均(.3175)との比較

Figure gini coefficients across OECD nations



出典) “Income inequality remains high in the face of weak recovery” (OECD, Nov. 2016) Table 1 より作成。  
<http://www.oecd.org/social/OECD2016-Income-Inequality-Update.pdf>, 2016年12月5日アクセス

# 相対的貧困率の国際比較： OECD 平均 (11.493) との比較



出典) “Income inequality remains high in the face of weak recovery” (OECD, Nov. 2016) Table 1 より作成。  
<http://www.oecd.org/social/OECD2016-Income-Inequality-Update.pdf>, 2016年12月5日 アクセス

# 格差と貧困、どちらが問題か

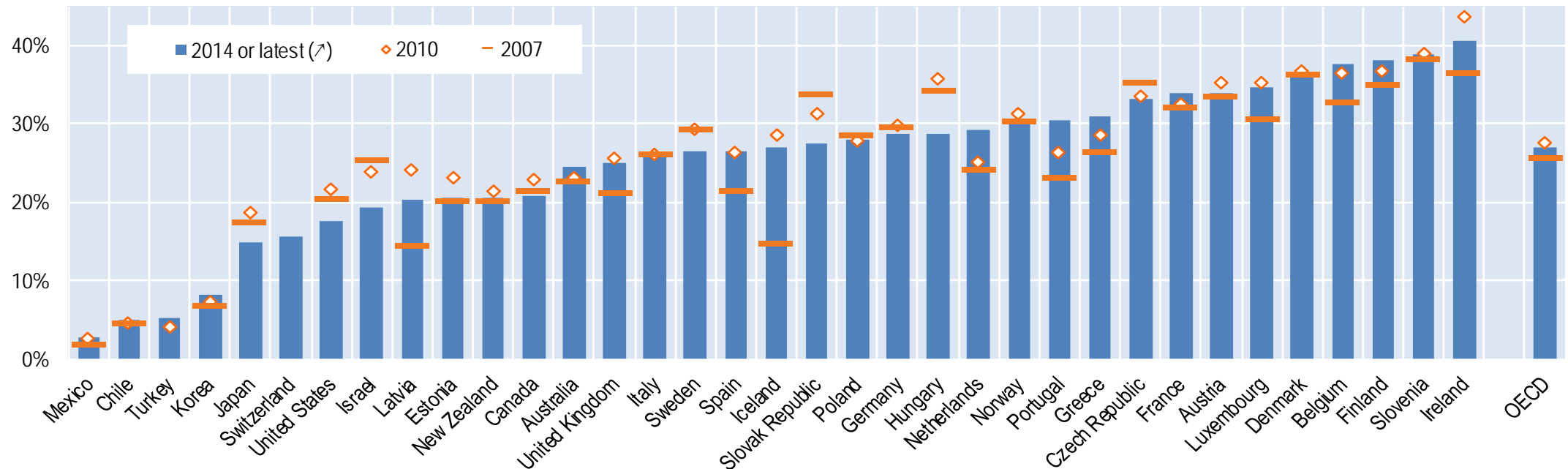
- 格差よりも貧困が問題、果たしてそれは正しいか
- 格差は機会と結果の不平等の結果
- 格差が生まれるメカニズムを解明するにあたって、  
機会の不平等は重要

# 日本の限定的な再分配効果

source: "Income inequality remains high in the face of weak recovery" (OECD, Nov. 2016) Figure 5  
<http://www.oecd.org/social/OECD2016-Income-Inequality-Update.pdf> 2016年12月11日アクセス

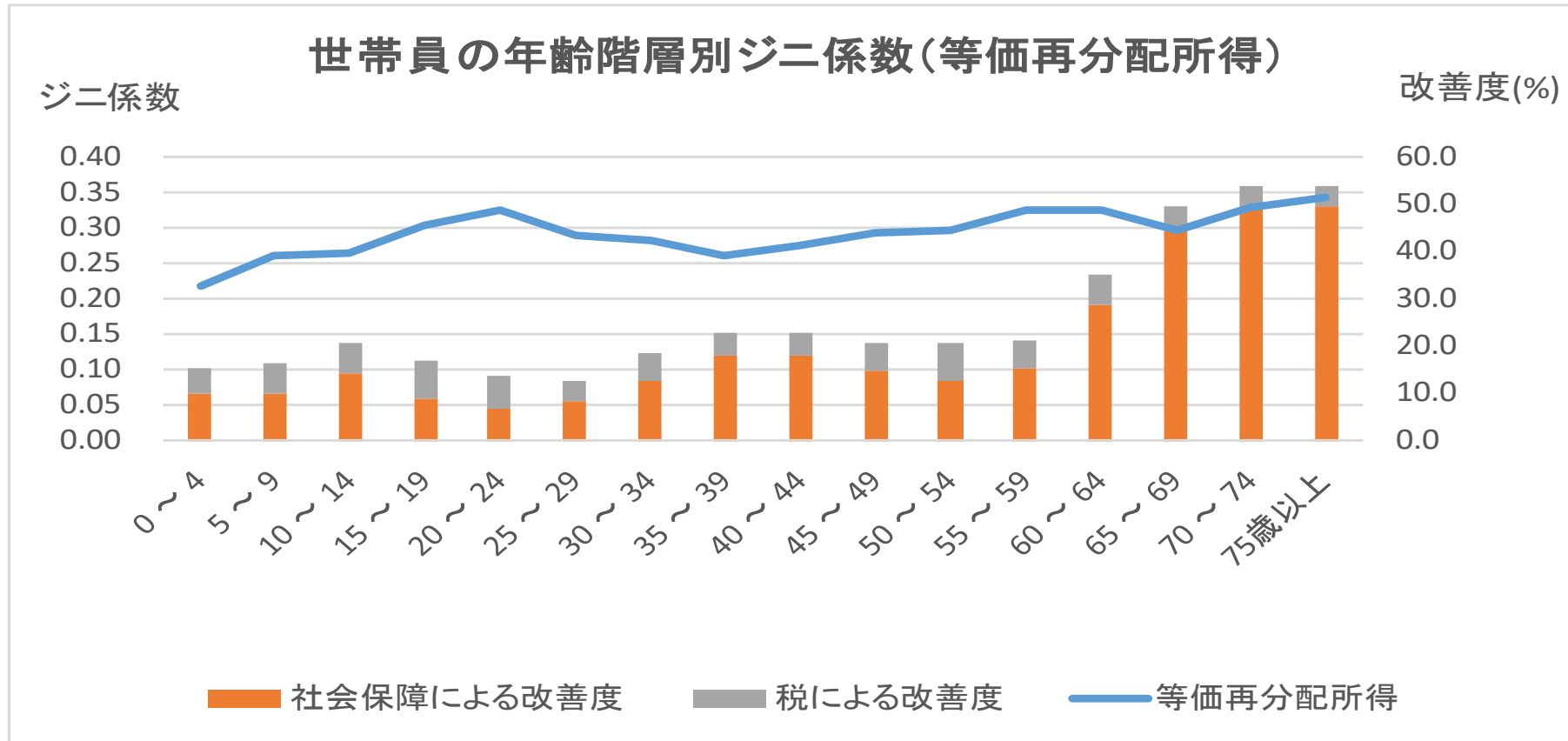
## 5. Redistribution declined in a majority of countries since 2010

Percentage reduction of market income inequality due to taxes and transfers, 2007 – 2014



Notes: Redistribution is defined as the difference between market income and disposable income inequality, expressed as a percentage of market income inequality. Data years: see table 1  
 Taxes are not available in Hungary, Mexico and Turkey.

# 高齢層に偏る再分配効果



出典)「平成26年所得再分配調査報告書」(厚生労働省)第10表より作成。

(<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-12605000-Seisakutoukatsukan-Seisakuhyoukakanshitsu/h26hou.pdf>)

注) 等価再分配所得には現物給付を含む。

# 富める者と貧しい者

- 何が問題か
- 何を改善すべきか
- これまでの想定とは異なる将来への見通し
  - 時代効果/コホート(出生時期)効果への配慮

これまでとは違った生き方、多様な生き方に対応する社会制度の構築